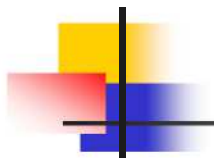


日本発条株式会社 豊田工場

～廃棄物発生量削減の取組み～



弊社概要

社 名：日本発条株式会社（NHK）

設 立：1939年（昭和14年）9月

本 社：横浜市金沢区福浦3-10

代表者：代表取締役社長 玉村 和己

事業部門：ばね生産本部、精密ばね生産本部、DDS事業本部、産業機器本部
STS事業本部、**シート生産本部**

事業内容：懸架ばね、自動車用シート、精密ばね、HDD用サスペンション
HDD用機構部品、
産業機器（ろう付製品、セラミック製品、配管支持装置、
ポリウレタン製品、金属ベースプリント配線板、駐車装置）
セキュリティ製品の製造販売

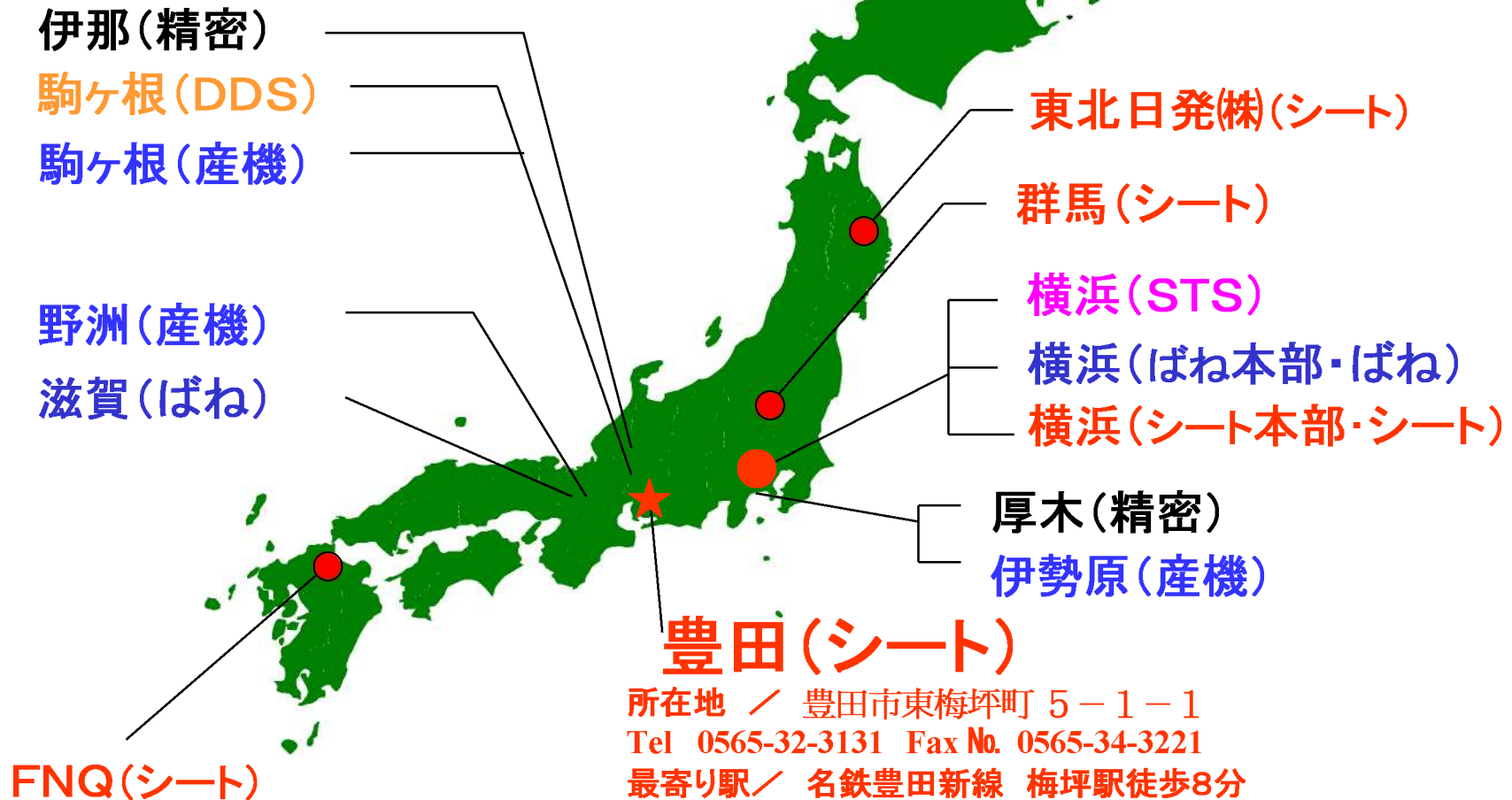
資本金：170億円

ニッパツ事業のご紹介(国内)

国内 1 2工場

(シート生産 3工場)

国内シート関連会社 2工場





矢作川

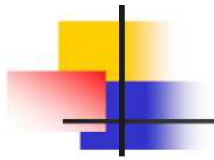
平成記念橋

R 153

民家

名鉄三河線

民家



豊田工場 事業内容



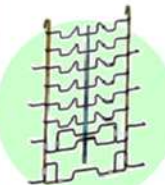
トノカバー



パネルフレーム



フォームワイヤー



フラットマット

フロントシートフレーム

アルト



エスクード



ワゴンR



スズキ殿 国内生産数の
フレーム受注&生産

ヴィッツ



プリウス

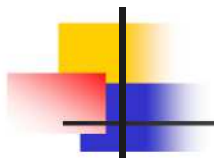


トヨタ殿 国内生産数の
フレーム受注&生産

金属加工(プレス~溶接・組立)
に特化した モノづくりの構築

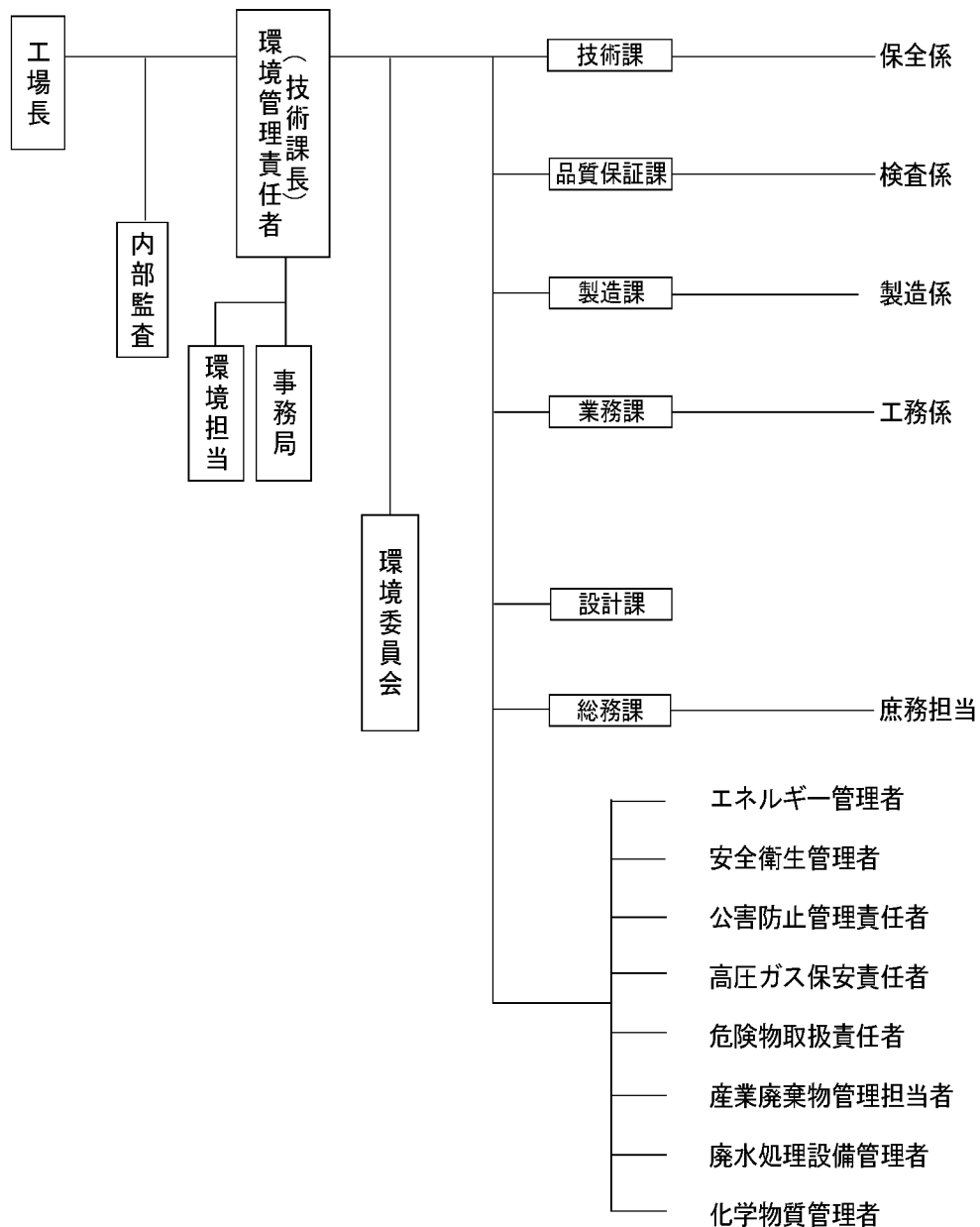
自動化の推進と新技術の導入





廃棄物発生量削減の取組み

豊田工場環境問題に取り組む体制





1. 豊田工場 廃棄物の排出類

汚泥

排水処理後の泥状のようなもの

廃油

鉱物油系廃油、タールピッチ類

廃酸

酸性廃液

廃アルカリ

アルカリ性の廃液

廃プラスチック類

合成樹脂、合成繊維

紙くず

コピー用紙、カタログなど

鉄くず

切削時のくず、鉄鋼全般

ガラス・陶磁器くず

ガラスくず、陶磁器くず

生ごみ

使用後のお茶の葉、コーヒーなど

※ 廃油

今期5月より有価売却を開始
12月までの売却量 3,600L
(回収業者殿で潤滑油に再生、製品化)

廃棄物削減活動

削減活動事例



部品協力メーカーさんがパイプなどの運搬時に使用する結束バンドをPP材から布製バンドに切替えのお願いしました。
※PP材は軟質プラスチックとしての廃却になり毎日使用される為、発生量は激減。



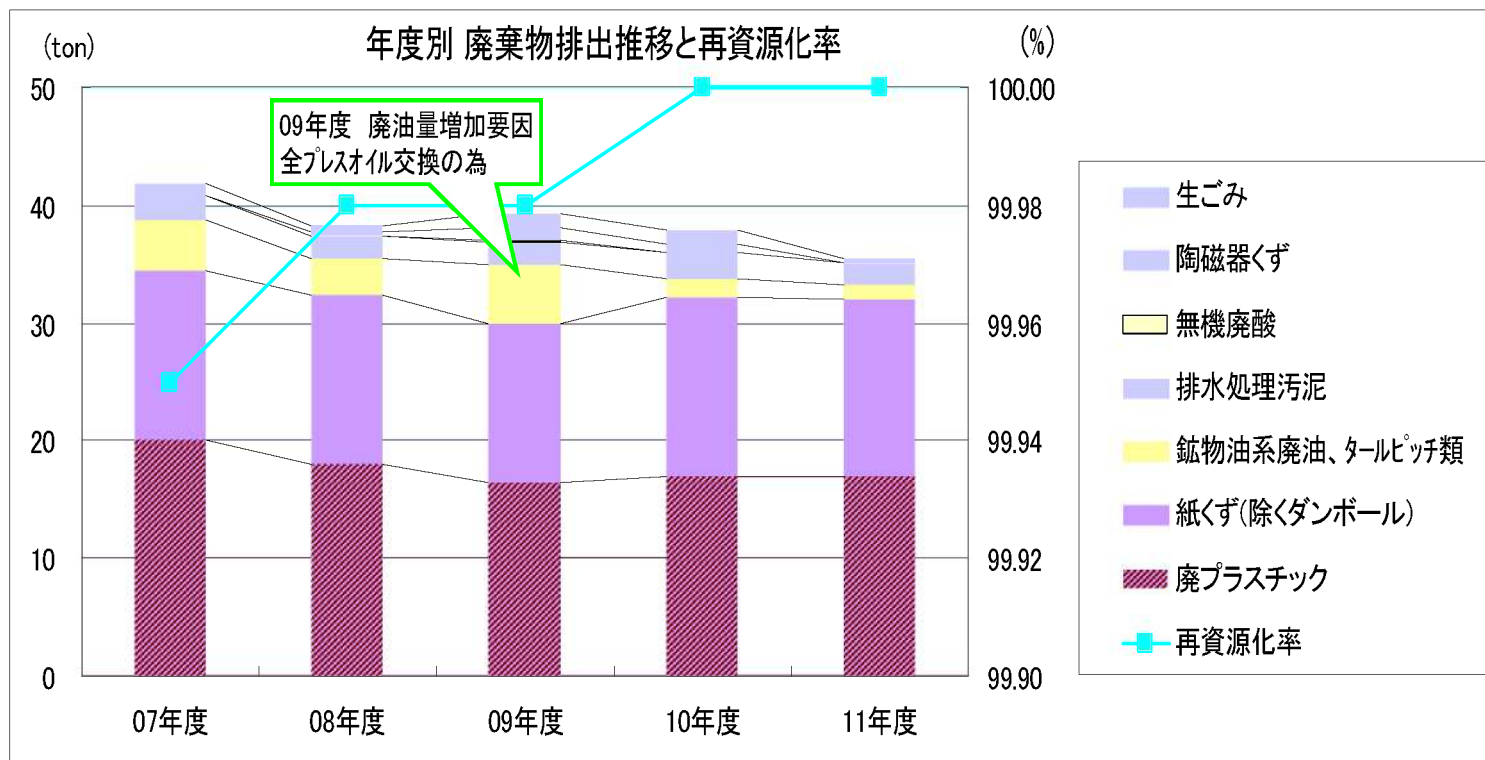
売店で購入した物も専用ゴミ箱を設置して売店さん側で処分をお願いしています。

これまでの削減活動効果により廃棄物排出量は年々減少



2. 産業廃棄物 排出推移

再資源化率 10年度以降100%継続維持！！



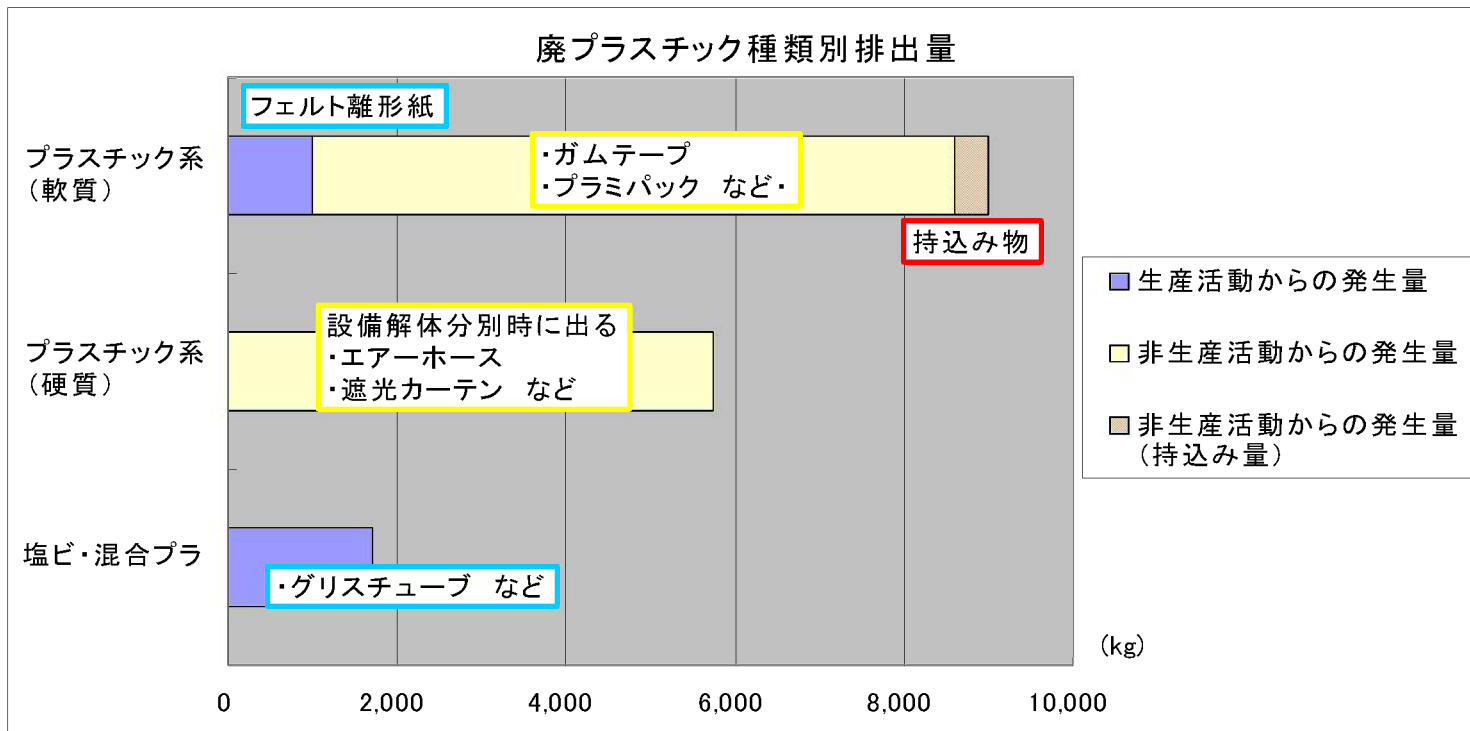
2. 産業廃棄物 排出推移

【廃プラスチック分類】

軟質プラスチック

硬質プラスチック

混合プラスチック・塩ビ



3. 非生産活動からの排出状況把握

リサイクルステーションで確認した持込み廃却物

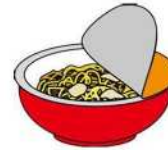
軟質プラスチック類



弁当容器



ペットボトル



カップ麺容器



カップ&ストロー

1ヶ月間の排出量結果 20kg/月



NHK
N (なくせ) H (へらせ) K (かえろ)

8月度の環境委員会で持込んだ物は持ち帰ることに取り決めた



4. 対策

環境委員会での取り決め事項の周知と徹底

- ①食品類を回収箱に廃却禁止、各自で持ち帰ること
※禁止した物
 - ・弁当容器
 - ・カップ麺容器
 - ・ファーストフード関係類
 - ・ドリンクピン
 - ・ペットボトル
- ②非生産活動からの持ち込み物の持ち帰りの徹底
- ③排出目標値を決めて環境計画で進捗管理をする
今期は排出目標量 2 k g / 月

上記の取組みを環境管理責任者から各部署へ配布し
各部署の部署長、環境委員より周知、徹底がされた

5. ごみ分別改善

1. 一般可燃物	2. 硬質プラスチック類	3. 混合プラ・塩ビ	4. 紙類	5. 軟質プラスチック類	6. 保護具関係
<p>回収箱に入れてはいけない物 NÃO PODE SER JOGADO NA LIXEIRA</p> <p>※分別不明のものは「7. その他」へ入れてください。</p> <p>分別回収にご協力ください。よろしくお願ひ致します。</p>					



各ゴミステーションには分別品目毎に写真付きの分別一覧表を掲示

5. 軟質プラスチック類

Plásticos finos e macios checar a marca

処理費用 30円/kg + 収集運搬 26,000円/車
(2ヶ月に1回 回収)

最終処分方法

石油、石炭代替燃料の「RPF」としてリサイクルします

100%リサイクルOK!

	① 梱包用袋 saco plástico, embalagem		⑨ ラップ類 Tipo de barbatão de vinil
	② タイラップ Fitas para fixar		⑩ テーパ梱包ビニール embalagem plástica do fita adesiva
	③ 結束バンド (PPバンド) Laços ou cabos (PP bando)		⑪ ビニール袋 saco plástico
	④ 離型紙 Papel do feltro		⑫ 緩衝材 BOLHA DE PLÁSTICO

- ・ 処理費用+収集運搬費
- ・ 最終処分方法
- ・ 再資源化

【ゴミステーション改善】

事例①

屋外タイプ

- ・中が見えるように開口部を設けた
開口部は感熱させたラミネートフィルム（透明）を
中から貼り付け、開口部からごみが外に
はみ出ないようにした
- ・蓋に貼っていた分別詳細表の
取付け場所を見やすい場所に変更した



詳細分別表



開口部

【事例①】

事例②

屋内タイプ

- ・ゴミの発生量が年々減少していることから
回収箱の見直しを行いゴミステーションの
設置スペースの縮小をした
- ・回収箱は全て蓋を廃止、箱は透明にして
中が見えるようにした

(改善前)



(改善後)



【事例②】

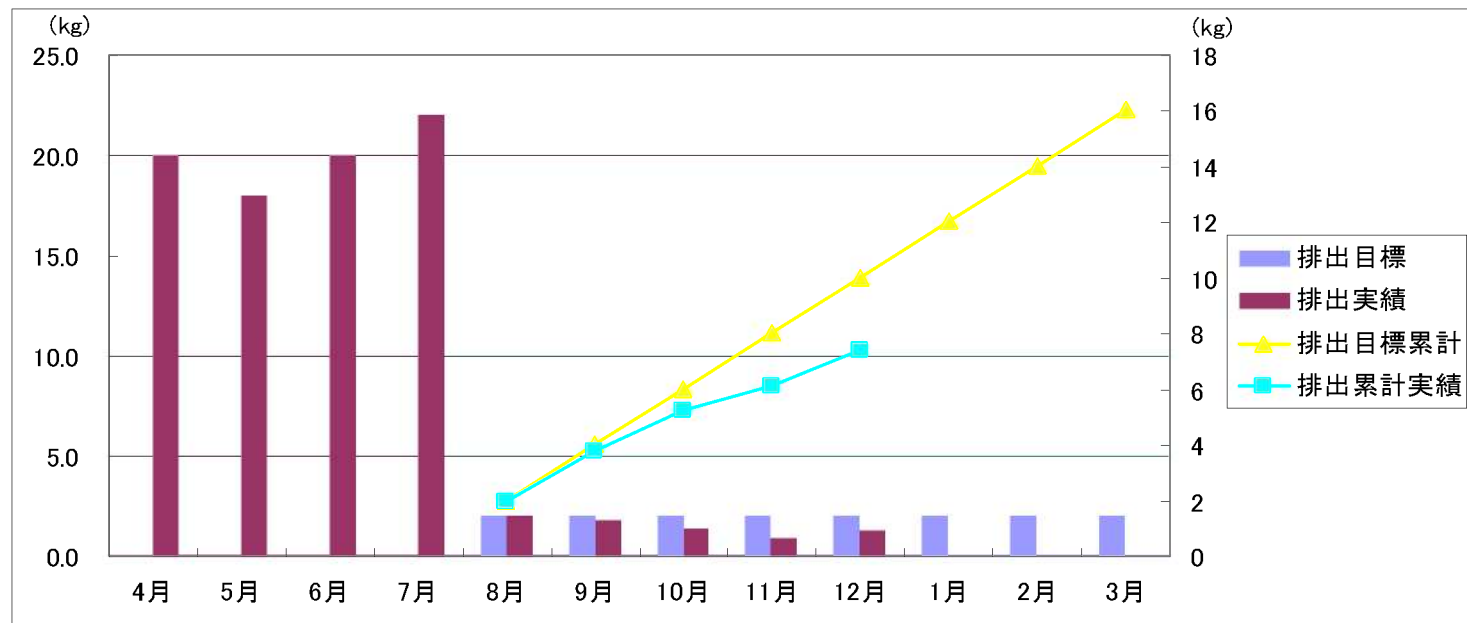
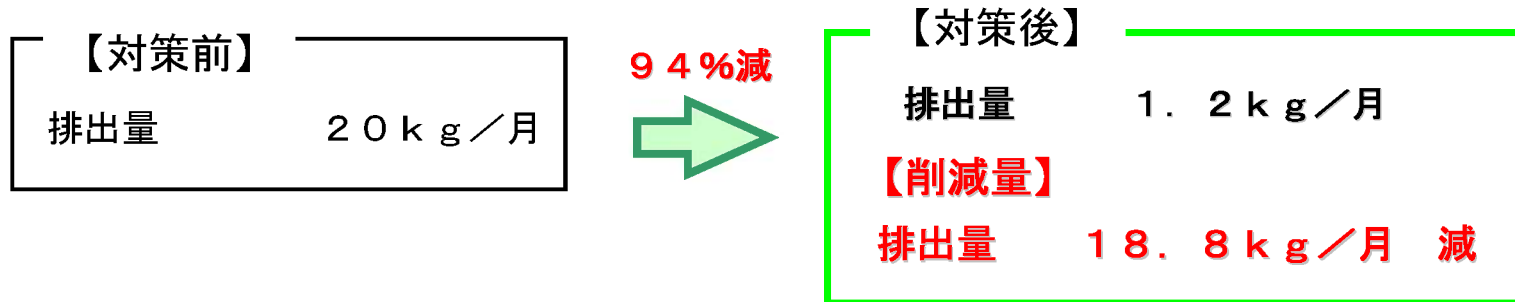
回収箱を横並びから2段にしたことで
設置スペースの縮小をした

○期待効果

今回の改善で蓋の廃止や回収箱を透明に
しました。中が見えることで分別への意識
向上に繋がり分別ミスを軽減させる。

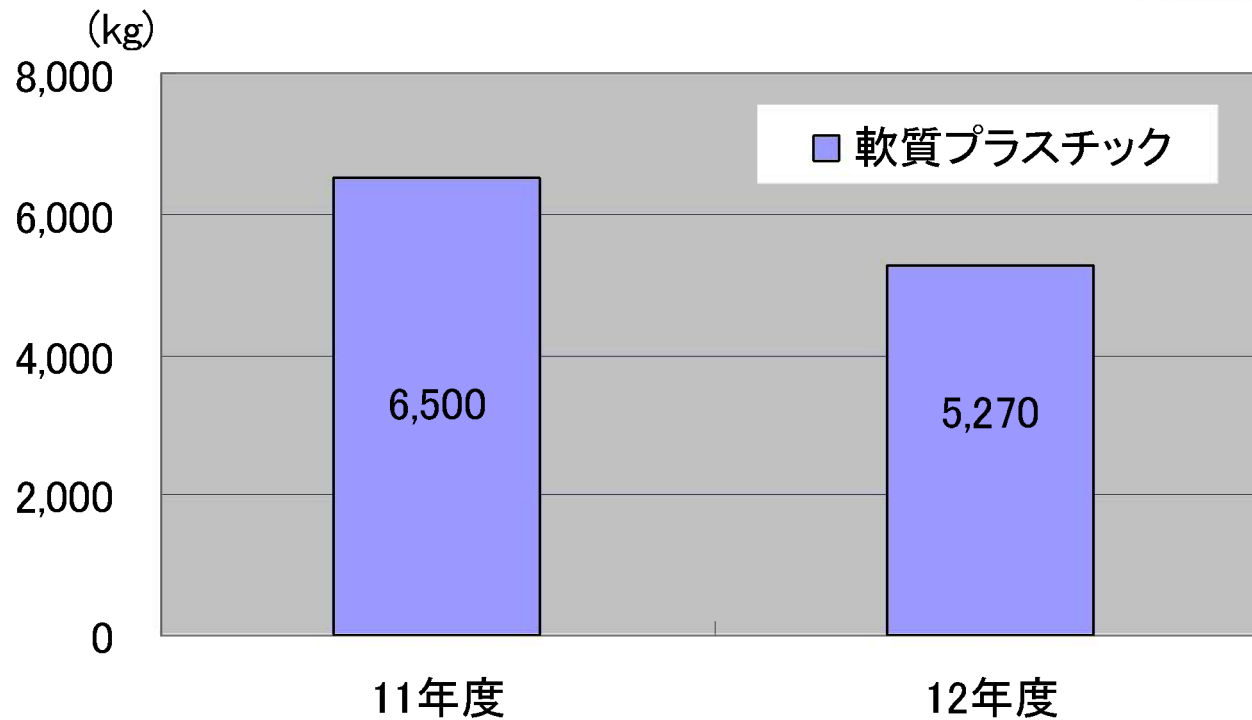
6. 効果

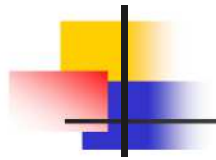
持込みごみの廃却禁止から1ヶ月後の状況



6. 効果

これまでに行ってきた削減活動と
今期8月からの削減活動によって
前年度12月までの比較で
軟質プラスチック排出量 **18%削減** となりました。



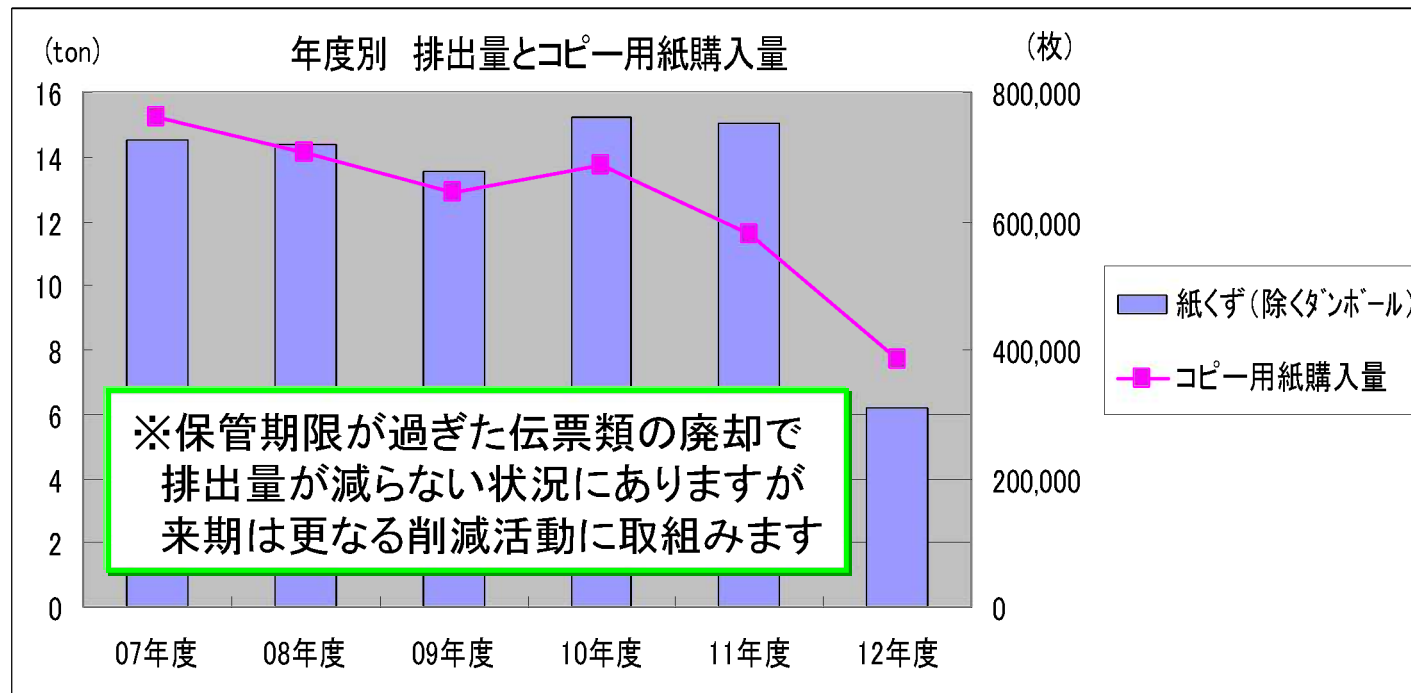


7. 今後の取組み

非生産活動からの発生量も一定の削減効果を得ることができました。
今後の取組みとして

更なる環境負荷低減活動

○廃棄物削減（ペーパーレスの徹底など）





7. 今後の取組み

非生産活動からの発生量も一定の削減効果を得ることができました。

今後の取組みとして

更なる環境負荷低減活動

○廃棄物削減（ペーパーレスの徹底など）

○再資源化率100%維持活動

分別状況の定期的なチェックやごみの排出量の変化など必要に応じて手法改善を行い、総排出量の削減を目指し環境負荷低減活動に取り組んでいきます。

全員参加による 廃棄物とCO2削減



御清聴ありがとうございました。

日本発条株式会社

豊田工場